

報道関係各位

2021年6月30日
株式会社クロス・マーケティング

自分の名前には半数が「愛着あり」 夫婦別姓のメリットは「愛着ある名前が名乗れる」、夫婦同姓は「実感が高まる」

－ 名前に関する調査(2021年)－

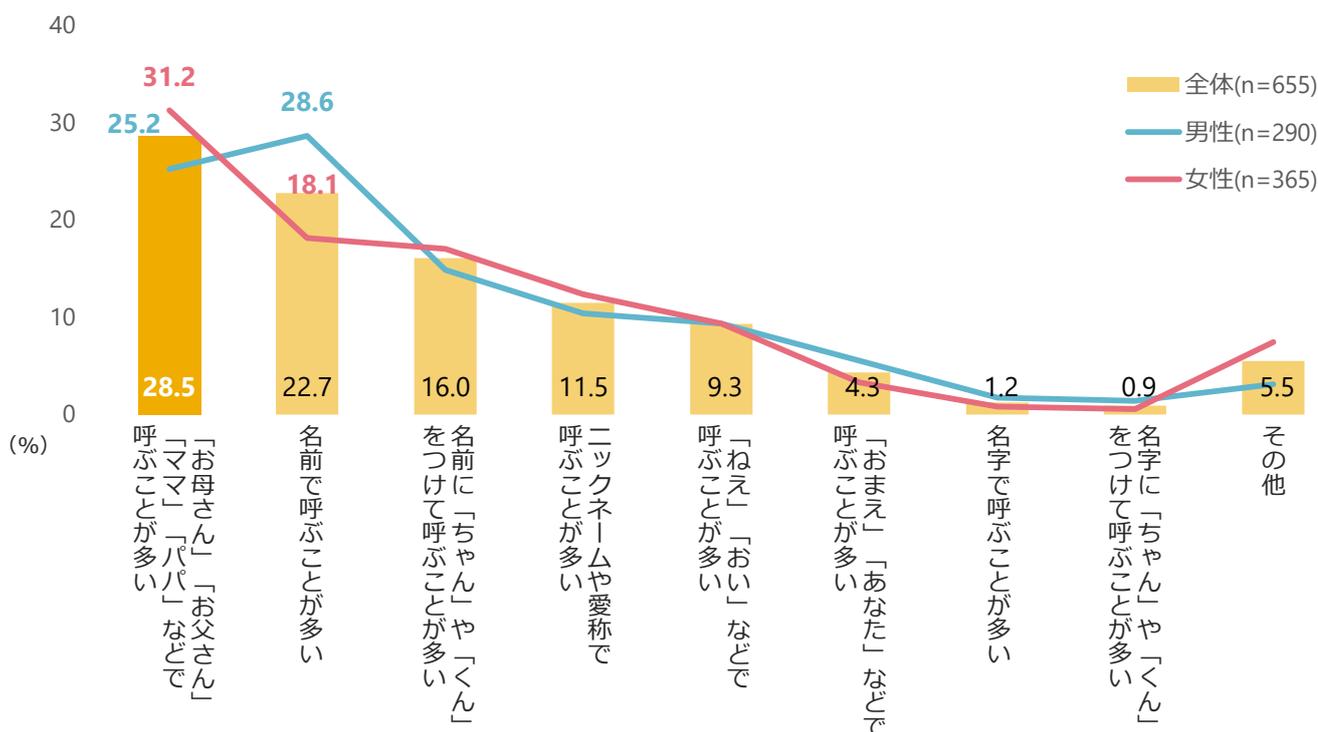
株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国20歳～69歳の男女を対象に【名前に関する調査】を実施しました。選択的夫婦別姓に関する話題が飛び交う中、人々は名前に対してどんな意識をもっているのでしょうか。今回は「配偶者をどのように呼ぶか」「自分の名前にどの程度愛着を感じるか」「愛着がある理由」「夫婦同姓にするメリット」「夫婦別姓にするメリット」などを聴取しました。

◆自主調査リリースの続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20210630name/>

■調査結果

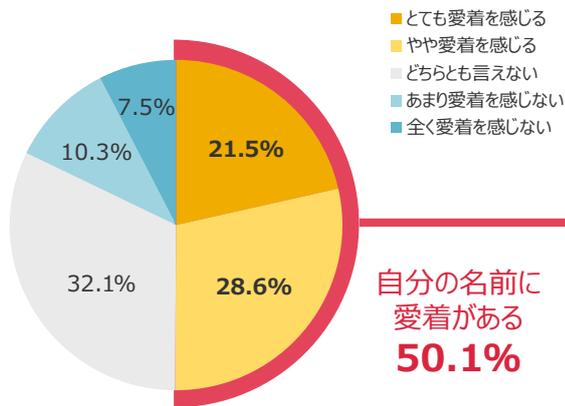
- ✓ 配偶者の呼び方では、【「お母さん」「お父さん」「ママ」「パパ」などで呼ぶ】が最も高く（28.5%）、【名前と呼ぶ】が次点（22.7%）、【名前に「ちゃん」や「くん」をつけて呼ぶ】が続く（16.0%）。〈図1〉
性別で見ると、女性では【「お母さん」「お父さん」「ママ」「パパ」などで呼ぶ】（31.2%）、男性では【名前と呼ぶ】（28.6%）がそれぞれ高い結果となり、性別での傾向の違いが見られた。
- ✓ 自分の名前にどの程度愛着を感じるか聴取したところ、半数（50.1%）が「自分の名前に愛着がある」と回答、約2割（17.8%）が「自分の名前に愛着がない」という結果となった。〈図2・3〉
名前に愛着がある主な理由としては、【珍しい名前なので気に入っている】や【名付け親の影響】【名前の由来を気に入っている】などがあげられた。
- ✓ 夫婦同姓にするもののメリットでは【夫婦になったことの実感がわく】【関係性が深まる】などがあげられ、夫婦別姓にするもののメリットでは【愛着のある名前を名乗れる】【結婚しても自分という個を確立できる】などがあげられた。〈図4・5〉

〈図1〉 配偶者の呼び方（複数回答：既婚者ベース：n=655）



<図2> 自分の名前にどの程度愛着を感じるか

(複数回答：n=1,100)



<図3> 自分の名前に愛着がある理由

(自由回答一部抜粋) (自由記述：n=551)

珍しい名前なので気に入っている

- ・ 特殊であまりこの名前を使用した人がいないため。(男性・20代)
- ・ 珍しい名前で、子供の時は嫌だったが、今は個人的なことが嬉しい。(女性・30代)
- ・ めずらしい名前なので名字でなく名前で呼ばれることが多い。(女性・50代)
- ・ まず、だれも正確に読めない。非常に希な名前である。(男性・60代)

名付け親の影響

- ・ 会ったことはないが、曾祖父が付けてくれたので、愛着と歴史を感じる。(男性・60代)
- ・ 今の両親の間に生まれたからこそその名字で、両親が一生懸命考えてつけた名前だからこそ愛着がある(女性・20代)

名前の由来を気に入っている

- ・ 名前の由来を聞いて気に入っているから(女性・30代)
- ・ 名前に使われた漢字の意味がとても気に入っている為(女性・20代)

<図4> 夫婦同姓のメリット (自由回答一部抜粋)

(自由記述：n=1,100)

夫婦になったことの実感がわく

- ・ 子どもが産まれたときにみんなと同じ姓になる事で一つの家族と感じられるから(女性・30代)
- ・ 夫と繋がっている感じがする。いつまでも夫と一緒にと思える(女性・30代)
- ・ 公共の場で、新姓で呼ばれる度に、好きな人と同じ姓になったのだなあと、嬉しくなる(女性・60代)
- ・ 一緒になったんだなあとと思える。一緒に一つの家庭を作るのだという気持ちを持つ(女性・60代)

関係性が深まる

- ・ 絆が深まるような感じはする(男性・50代)
- ・ 関係が濃いものになれたんだという実感を感じることができる(女性・40代)

<図5> 夫婦別姓のメリット (自由回答一部抜粋)

(自由記述：n=1,100)

愛着のある名前を名乗れる

- ・ 自分が産まれた時からの名前なので愛着があるし、まさに自分本人であると自覚できる。(女性・60代)
- ・ 慣れ親しんだ旧姓のほうがしっくりくる。(女性・40代)
- ・ 今までの染み付いた名字の方がいい(女性・60代)
- ・ 自分の姓に強い思い入れやこだわりがある人もいると思う(女性・40代)

結婚しても自分という個を確立できる

- ・ 結婚しても個人を尊重して生きていける(女性・40代)
- ・ 自分のアイデンティティが保持される(男性・50代)
- ・ 個の確立ができる。同一姓の〇〇家ではない当人同士の結びつきとしての結婚ができる。(女性・60代)

■ 調査項目

- 属性設問
- 昨今の状況下で、現在、あなたが「してもいい」と思う外出を伴う行動
- 配偶者の呼び方
- 自分の名前にどの程度愛着を感じるか
- 自分の名前に愛着がある理由
- 夫婦同姓にするメリット
- 夫婦別姓にするメリット

◆クロス集計表のダウンロードはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20210630name/>

■ 調査概要

調査手法：インターネットリサーチ (クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用)
 調査地域：全国47都道府県 調査期間：2021年6月25日(金)
 調査対象：20～69歳の男女 有効回答数：本調査1,100サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名：株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
 所在地：東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
 設立：2003年4月1日
 代表者：代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容：マーケティングリサーチ事業

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当：マーケティング部 TEL：03-6859-1192 FAX：03-6859-2275
 E-mail：pr-cm@cross-m.co.jp

«引用・転載時のクレジット表記のお願い»

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」